

事業番号

2023 - 文科 - 22 - 0037

| 令和5年度行政事業レビューシート | | (文部科学省) | | | | | |
|------------------------------------|--|--|----------------|---|-----------------------------|-------|---------|
| 事業名 | 社会人の学びの情報アクセス改善に向けた実践研究 | | 担当部局 | 総合教育政策局 | 作成責任者 | | |
| 事業開始年度 | 平成30年度 | 事業終了(予定)年度 | 終了予定なし | 担当課室 | 生涯学習推進課 生涯学習推進課長 石橋 晶 | | |
| 会計区分 | 一般会計 | | | | | | |
| 根拠法令 (具体的な 条項も記載) | | | 関係する 計画、通知等 | <small>人生100年時代構築推進 入試改革推進(1)平成30年度(15日) 生涯学習推進事業の基本方針(1)平成30年度(15日) 生涯学習推進事業の基本方針(2)平成31年度(9月9日) 生涯学習推進事業の基本方針(3)平成32年度(9月9日) 生涯学習推進事業の基本方針(4)平成33年度(9月9日) 生涯学習推進事業の基本方針(5)平成34年度(9月9日) 生涯学習推進事業の基本方針(6)平成35年度(9月9日) 生涯学習推進事業の基本方針(7)平成36年度(9月9日) 生涯学習推進事業の基本方針(8)平成37年度(9月9日) 生涯学習推進事業の基本方針(9)平成38年度(9月9日) 生涯学習推進事業の基本方針(10)平成39年度(9月9日) 生涯学習推進事業の基本方針(11)令和元年度(9月9日) 生涯学習推進事業の基本方針(12)令和2年度(9月9日) 生涯学習推進事業の基本方針(13)令和3年度(9月9日) 生涯学習推進事業の基本方針(14)令和4年度(9月9日) 生涯学習推進事業の基本方針(15)令和5年度(9月9日) 生涯学習推進事業の基本方針(16)令和6年度(9月9日) 生涯学習推進事業の基本方針(17)令和7年度(9月9日) 生涯学習推進事業の基本方針(18)令和8年度(9月9日) 生涯学習推進事業の基本方針(19)令和9年度(9月9日) 生涯学習推進事業の基本方針(20)令和10年度(9月9日)</small> | | | |
| 政策 | 1 新しい時代に向けた教育政策の推進 | | 主要経費 | 教育振興助成費 | | | |
| 施策 | 1-4 生涯を通じた学習機会の拡大 | | | | | | |
| 政策体系・評価書URL | https://www.mext.go.jp/content/20211220-mxt_kanseisk02-000019646_1-4.pdf | | | | | | |
| 事業の目的 (5行程度以内) | 人生100年時代やデジタル社会の進展を見据え、社会人一人ひとりが社会の変化に対応できるよう、個人の知識・スキルをアップデートし続けるためのリカレント教育を推進することが重要である。そのために、大学・専修学校等の社会人向けのプログラム内容や、他省庁の施策含む社会人の学びを支援する各種支援制度、学び直しを実践した者の成果やその後のキャリアへの影響等を示すロールモデルなど、社会人の学びに役立つ情報を発信し、学習のモチベーションに繋げる機会を創出することが重要であることから、広く社会人が効果的・効率的に、リカレント教育に関する情報にアクセスすることができる仕組みを構築する。 | | | | | | |
| 現状・課題 (5行程度以内) | 過去5年以内に、学び直しのため大学等に従業者を送り出した実績がある企業等は、2020年度において約8.8%であり、大学等を積極的に活用できていない理由として最も多く挙げられているのは、プログラム内容に関する情報不足(36.7%)である。(株式会社野村総合研究所「大学等におけるリカレント講座の持続可能な運営モデル構築に関する調査研究」成果報告書(2021年3月)より) また、社会人が自己啓発を行う上での課題としても、時間・費用面の課題に加えて、自身のキャリアに合うコースが分からない(23.2%)、適当なプログラム提供機関が見つからない(15.0%)など、学び直しをしたいが何を学ぶべきかの情報収集に課題を感じている者が一定数存在。(厚生労働省「令和3年度能力開発基本調査」より) | | | | | | |
| 事業概要 (5行程度以内) | 大学・専修学校等の社会人向けのプログラムに関する情報や、他省庁の施策含む社会人の学びを支援する各種制度に関する情報、社会人からのニーズがある情報を効果的に発信することに加え、学習歴の可視化に関する取組や、発信した情報に対する社会人の動態を把握し、実践的な調査研究を行うことを通じて、社会人が効果的に情報収集できる環境の創出・普及を図る。 | | | | | | |
| 事業概要URL | https://manapass.jp/ | | | | | | |
| 実施方法 | 直接実施、委託・請負 | | | | | | |
| 補助率等 | - | | | | | | |
| 予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット) | 予算の 状況 | 当初予算(A) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度要求 |
| | | 補正予算(B) | - | - | - | - | - |
| | | 前年度から繰越し(C) | - | - | - | - | - |
| | | 翌年度へ繰越し(D) | - | - | - | - | - |
| | | 予備費等(E) | - | - | - | - | - |
| | | 計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E) | 16.9 | 16.8 | 14.1 | 30.2 | 220.2 |
| | | 執行額(G) | 12.8 | 15.9 | 10.8 | - | - |
| | | 執行率(%) =(G)/(F) | 76% | 95% | 77% | - | - |
| | | 当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)] | 76% | 95% | 77% | - | - |
| | | 歳出予算項・目 | 令和5年度当初予算 | 令和6年度要求 | 主な増減理由(・要望額・予備費) | | |
| (項) | 教育政策推進費 | - | - | | | | |
| (目) | 教育政策推進事業委託費 | 29.3 | 115 | - | | | |
| (目) | 人材育成推進事業費補助金 | - | 104 | - | | | |
| (目) | 庁費 | 0.5 | 1 | - | | | |
| (目) | 諸謝金 | 0.1 | 0 | - | | | |
| (目) | 職員旅費 | 0.1 | 0 | - | | | |
| (目) | その他 | 0 | 1 | - | | | |
| 計(A) | 30.2 | 220.2 | - | | | | |

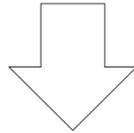
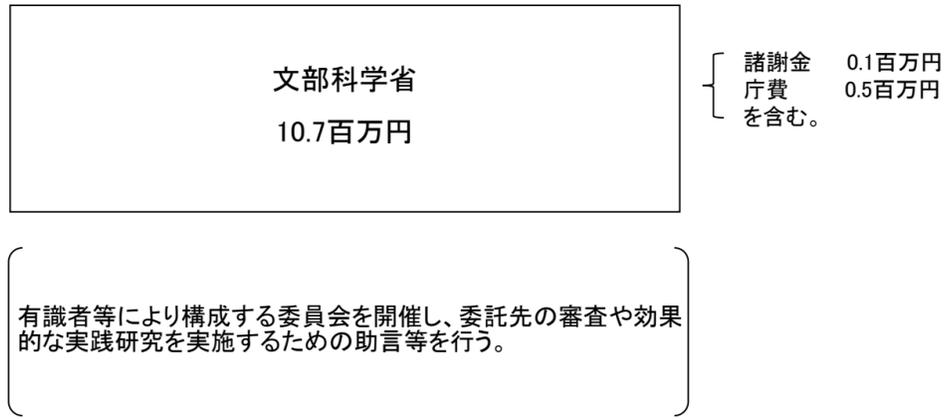
| | | | | | | | | | | |
|---|--|--|------|----|-------|-------|-------|---------------|-------------|--|
| 活動内容① (アクティビティ) | 社会人の学びを応援するポータルサイト「マナパス」のユーザー動態を踏まえたニーズの分析を行うとともに、「マナパス」に掲載すべき情報やコンテンツ、また機能改善について検討し、サイトの利便性向上に努める。 | | | | | | | | | |
| ↓ | | | | | | | | | | |
| 活動目標及び活動実績 ① (アウトプット) | 活動目標 | 活動指標 | | 単位 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 5年度 活動見込 | 6年度 活動見込 | |
| | 「マナパス」の運用上の現状・課題等について、有識者を交えた検討の場を設置する | 運営委員会の実施回数 | 活動実績 | 回 | 2 | 2 | 1 | - | - | |
| 当初見込み | | | 回 | 2 | 2 | 1 | 2 | - | | |
| ↓ | 成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり) | 「マナパス」の認知度はまだ低い状況であり(大学等におけるリカレント教育に関する情報収集方法としてマナパスを挙げた者は0.7%、三菱総合研究所「令和3年度産業経済研究委託事業(「イノベーション創出」のためのリカレント教育に関する調査)より)、「マナパス」に会員登録している者は大学等が開設するリカレント教育プログラムへの関心が比較的高い層といえる。サイトの利便性向上について、まずは日々活用しているユーザーの反応を捉えることで、運営委員会で議論・検討した成果を測る。 | | | | | | | | |
| 成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム) | 成果目標 | 定量的な成果指標 | | 単位 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 目標年度 5年度 | | |
| | 「マナパス」の利便性について、ユーザー目線からの満足度を得る | 「マナパス」会員向けアンケート調査で、「使いやすい必要な機能が備わっているか」という問に対して「そう思う」と回答する者の割合 | 成果実績 | % | - | - | - | - | | |
| | | | 目標値 | % | - | - | - | 60 | | |
| 達成度 | % | - | - | - | - | | | | | |
| 成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績 | これまで上記指標を測定したアンケート調査の実績はないものの、令和4年度に実施したマナパス会員向けアンケート調査において、マナパスを活用した大学等の講座申込みに不便を感じなかったと回答した者は約37%。 | | | | | | | | | |
| ↓ | 成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり) | 「マナパス」の利便性や有用性が認知され、社会人の学び直しに対する意欲が喚起されることで、積極的にサイトを活用しようとする会員登録者数が増える。 | | | | | | | | |
| 成果目標及び成果実績 ①-2 (中期アウトカム) | 成果目標 | 定量的な成果指標 | | 単位 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 目標年度 6年度 | | |
| | 「マナパス」の認知度を高め、利用者増加を目指す | 「マナパス」の会員登録者数 | 成果実績 | 人 | - | 134 | 639 | - | | |
| | | | 目標値 | 人 | - | - | - | 1,000 | | |
| 達成度 | % | - | - | - | - | | | | | |
| 成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績 | 「社会人の学びの情報アクセス改善に向けた実践研究」事業において「マナパス」の運営を委託している事業者の集計結果に基づく | | | | | | | | | |
| ↓ | 成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり) | 「マナパス」を活用した効率的・効果的情報収集が広まることで、社会全体として学び直しに際して大学等のプログラム情報が得やすくなる。 | | | | | | | | |
| 成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム) | 成果目標 | 定量的な成果指標 | | 単位 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 目標最終年度 7年度 | | |
| | 学び直しにあたってプログラム内容等の情報不足を感じる者を減らす | 自己啓発を行う上での問題点として「コース等の情報が得にくい」と回答する者の割合 | 成果実績 | % | 13 | 12.1 | - | - | | |
| | | | 目標値 | % | - | - | - | 10 | | |
| 達成度 | % | - | - | - | - | | | | | |
| 成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績 | 厚生労働省の能力開発基本調査 | | | | | | | | | |
| アウトカム設定について の説明 | アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由 | | | | | | | | | |
| | アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|-------|----|---------|---------|---------|---------------|-------------|--|
| 活動内容② (アクティビティ) | 「マナパス」の掲載コンテンツの充実化によって、学び直しに関する情報収集媒体としての価値を向上させる。 | | | | | | | | | |
| ↓ | | | | | | | | | | |
| 活動目標及び活動実績 ② (アウトプット) | 活動目標 | 活動指標 | | 単位 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 5年度 活動見込 | 6年度 活動見込 | |
| | 大学等に対して、社会人向けプログラムの周知に「マナパス」を活用してもらう | 大学等に対する「マナパス」への講座登録案内の回数 | 活動実績 | 回 | - | - | - | - | - | |
| | | | 当初見込み | 回 | - | - | - | 3 | - | |
| ↓ | 成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり) | 大学等に対する周知広報活動の結果、「マナパス」への講座掲載のインセンティブに繋がる。 | | | | | | | | |
| 成果目標及び成果実績 ②-1 (短期アウトカム) | 成果目標 | 定量的な成果指標 | | 単位 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 目標年度 5年度 | | |
| | 「マナパス」への掲載講座数を増やすこと で、大学等におけるリカレント教育に 関する情報発信を強化する | 「マナパス」への掲載講座数 | 成果実績 | 講座 | 5,359 | 6,125 | - | - | | |
| | | | 目標値 | 講座 | 4,000 | 5,500 | 6,000 | 6,000 | | |
| 達成度 | % | 134 | 111.4 | - | - | | | | | |
| 成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績 | 「社会人の学びの情報アクセス改善に向けた実践研究」事業において「マナパス」の運営を委託している事業者の集計結果に基づく | | | | | | | | | |
| ↓ | 成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり) | 掲載講座の充実により、学び直しを希望する社会人に「マナパス」の有用性が広まり、サイトの閲覧数が伸びる。 | | | | | | | | |
| 成果目標及び成果実績 ②-2 (中期アウトカム) | 成果目標 | 定量的な成果指標 | | 単位 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 目標年度 6年度 | | |
| | 「マナパス」のサイト閲覧数を伸ばす | 「マナパス」の年間PV数 | 成果実績 | PV | 151,499 | 237,011 | 345,677 | - | | |
| | | | 目標値 | PV | - | - | - | 400,000 | | |
| 達成度 | % | - | - | - | - | | | | | |
| 成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績 | 「社会人の学びの情報アクセス改善に向けた実践研究」事業において「マナパス」の運営を委託している事業者の集計結果に基づく | | | | | | | | | |
| ↓ | 成果目標②-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり) | 「マナパス」のコンテンツ力向上により、社会全体として学び直しに際して大学等のプログラム情報が得やすくなる。 | | | | | | | | |
| 成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム) | 成果目標 | 定量的な成果指標 | | 単位 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 目標最終年度 7年度 | | |
| | 学び直しにあたってプログラム内容等 の情報不足を感じる者を減らす | 自己啓発を行う上での問題点 として「コース等の情報が得に くい」と回答する者の割合 | 成果実績 | % | 13 | 12.1 | - | - | | |
| | | | 目標値 | % | - | - | - | 10 | | |
| 達成度 | % | - | - | - | - | | | | | |
| 成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績 | 厚生労働省の能力開発基本調査 | | | | | | | | | |
| アウトカム設定について の説明 | アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由 | | | | | | | | | |
| | アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由 | | | | | | | | | |

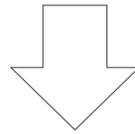
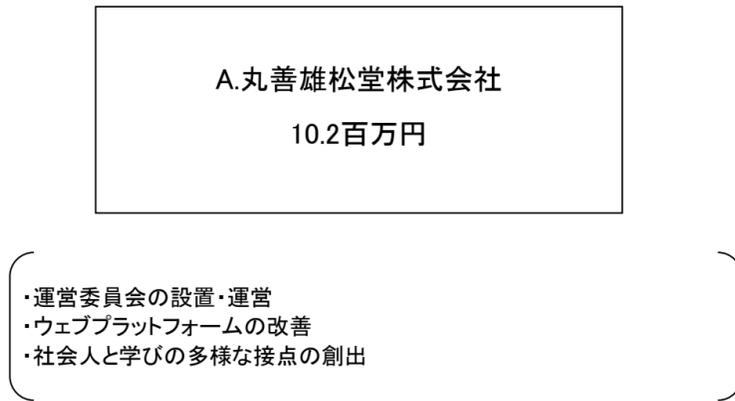
※令和4年度実績を記入。

なお、金額は単位未満四捨五入していることから、合計が一致しない場合がある。

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位: 百万円)

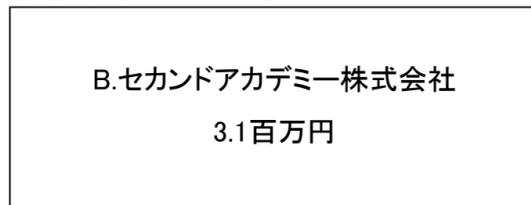


【随意契約(企画競争)】



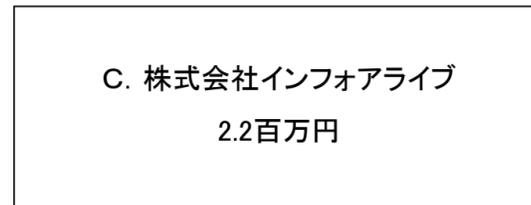
◆再委託

【随意契約(その他)】



- ・全体ディレクション
- ・Webデザイン業務
- ・サイト運営業務

【随意契約(その他)】



- ・サイト開発業務

| 費目・使途 (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金 額が支出されている者 について記載する。費目と 使途の双方で実情が分 かるように記載) | A. | | | B. | | |
|--|---------|----------------------------|-------------|--------|--------------------------|-------------|
| | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) |
| | 再委託費 | セカンドアカデミー株式会社、株式会社インフォアライブ | 5.3 | 借料及び損料 | サーバ利用料等 | 1.6 |
| | 人件費 | 担当者賃金 | 4 | 人件費 | 全体ディレクション・基本設計、WEBページ更新等 | 1.5 |
| | 一般管理費 | 一般管理費 | 0.4 | | | |
| | 消費税相当額 | 消費税相当額 | 0.4 | | | |
| | 諸謝金 | 運営委員会委員謝金 | 0.1 | | | |
| | 計 | | 10.2 | 計 | | 3.1 |
| | C. | | | D. | | |
| | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) |
| 人件費 | システム開発費 | 2.2 | | | | |
| 計 | | 2.2 | 計 | | | |
| 費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載 | | | | | | チェック |

支出先上位10者リスト

A.

| | 支出先 | 法人番号 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 契約方式等 | 入札者数 (応募者数) | 落札率 | 一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上) |
|---|-----------|---------------|---|--------------|----------------|----------------|------|---|
| 1 | 丸善雄松堂株式会社 | 2010001034952 | 運営会議の設置・運営、ウェブプラ ットフォームの改善、社会人と学びの多様な 接点の創出 | 10.2 | 随意契約(企画 競争) | 1 | 100% | - |

B.

| | 支出先 | 法人番号 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 契約方式等 | 入札者数 (応募者数) | 落札率 | 一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上) |
|---|---------------|---------------|---------------------------------|--------------|---------------|----------------|-----|---|
| 1 | セカンドアカデミー株式会社 | 1010401069236 | 全体ディレクション、WEBデザ イン業務、サイト運営業務 | 3.1 | 随意契約(その 他) | - | -- | |

C.

| | 支出先 | 法人番号 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 契約方式等 | 入札者数 (応募者数) | 落札率 | 一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上) |
|--|--------------|---------------|---------|--------------|---------------|----------------|------|---|
| 1 | 株式会社インフォアライブ | 9120901014284 | サイト開発業務 | 2.2 | 随意契約(その 他) | - | -- | |
| 支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載 | | | | | | | チェック | |